

下地別 化粧合板・焼付塗装鉄板下地

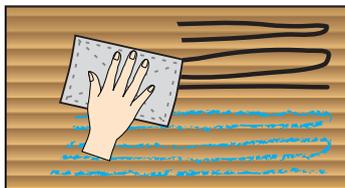
(プリント合板) (パーテーション)



2kg 入り

準備

- 下地の汚れを落とす。



- ・マジックやクレヨンの色は、後で壁紙の表面に浮き出てくる。

↓
クレーム。

- **通気性のない壁紙は選ばない。**

ビニル壁紙の場合は、エンボスの大きいものを選ぶ。

フラットなものや汚れ防止加工されたものは通気性がなく、施工はできない。

- ・下地に吸い込みが無いので、壁紙に通気性が無いと糊の水分の逃げ場所が無く、いつまでも糊が乾かない。

下地処理

・プライマー
・パテ

- **コンタクトセメント No.1** を原液で全面に塗布。



完全に**乾燥**。



- ・容量：2kg 入り
- ・標準希釈：原液使用
- ・施工可能面積：約 20 m²

- 仕上用の**パテ**で目地を処理。

この時、パテボンドか

パラダイン 390 クリーンを 5%程加えておく。



- ・目安として指で塗膜をさわり、指にコンタクトセメント No.1 が付着しなければ乾燥したと考えて良い。

施工

・糊付け
・ジョイント

- 糊は**ウォールボンド 100** か**スーパーグルー 96α**。



- **ジョイントは突き付け**施工。

重ね切り施工はできない。(下敷きテープが使えない)

- **ジョイントには必ず和紙のくいさきテープ**を入れる。



- ・合成樹脂エマルジョンが入っていないと接着しにくい。

- ・ビニル壁紙以外の施工時は、壁紙にあった接着剤をウォールボンドシリーズから選択し、壁紙は通気性のあるモノを選択する。

- ・コンタクトセメント No.1 の皮膜やプリント合板の表面を切ってしまうとそこから目開きを起こす。

- ・コンタクトセメント No.1 の場合、乾燥しても皮膜に粘着性が強く残るので、下敷きテープが接着してしまう。

- ・下地に吸い込みが無く糊の乾きが遅い。

↓
壁紙の縮みの方が先に始まり目スキを起こす。

- ・素材は和紙とし糊付けは避ける。

- ・突き付けの場合、幅広(70mm)を先に下地に貼っておくとジョイントが楽に合わせられる。

施工後

- 急激な乾燥は避ける。

- ・目スキの原因。